

芸術文化会館（いちょうホール）

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	事業計画書に基づく人員の配置 【館長1名、主査1名、管理運営10名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名】	1	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理7名、事業企画業務2名を配置	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理7名、事業企画業務2名を配置	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理7名、事業企画業務2名を配置	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理7名、事業企画業務2名を配置
	事業計画書に基づく有資格者の配置	2	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	年間を通して、施設の管理運営に必要な有資格者を、計画以上に配置し、安定した施設運営につなげた点を評価したい。		事業計画書に記載の有資格者数は確保し、更に以下のとおり有資格者を配置した。 ・第1種衛生管理者 1名 ・舞台機構調整技能者1級 1名 ・照明技術者1級 1名 ・音響技術技能3級 1名 ・玉掛技術者 1名 ・甲種防火管理者 1名 ・上級救命技能認定者（消防）1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者 1名 ・自衛消防技術認定 6名 ・電気主任技術者 1名 ・建築物環境衛生管理技術者（ビル管）1名 ・サウンドレコーディング技術B 1名 ・乙種消防設備士6類 1名 ・第一種消防設備点検資格者 1名 ・第1・2電気工事士 各1名 ・危険物取扱乙4類 1名 ・ポイラー2級 1名 ・特別管理産業廃棄物管理責任者 1名 ・第1・2種衛生管理者 各1名
	設備点検実施回数 【建物管理5回、空調・給排水65回、昇降機等82回、舞台設備40回】	3	-	年度末の数値をもって評価する。	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 1回 空調・給排水 13回 昇降機等 18回 舞台設備 14回	-	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 2回 累計3回 空調・給排水 23回 累計36回 昇降機等 22回 累計40回 舞台設備 9回 累計23回	-	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 2回 累計5回 空調・給排水 17回 累計53回 昇降機等 20回 累計60回 舞台設備 5回 累計28回	B		設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 1回 累計6回 空調・給排水 13回 累計66回 昇降機等 22回 累計82回 舞台設備 12回 累計40回		
団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	4	B		協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については各館毎の入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については各館毎の入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については各館毎の入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	5	B		資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。
	利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	6	B		利用料金は適正に徴収している。新型コロナウイルスの影響による料金の還付についても、引き続き適正に対応している。	B		利用料金は適正に徴収している。新型コロナウイルスの影響による料金の還付についても、引き続き適正に対応している。	B		利用料金は設定した利用料金表に基づき、パレスシステムによりデータ集計し、適正に徴収している。	B	利用料金の徴収漏れは無いことを確認した。	利用料金は設定した利用料金表に基づき、パレスシステムによりデータ集計し、適正に徴収している。
	収支計画が適正であること	7	B		新型コロナウイルスの影響による利用料金収入の減や、光熱水費の高騰による支出の増が見込まれるため、極力支出の抑制を図り収支バランスの確保に努めた。 公共料金（電気料金）の予期せぬ高騰への対応について、八王子市と協議を進めている。	B	市民利用が多く、他の施設に比べると新型コロナウイルスの影響による利用料金の減収がまだ続いているとのこと。	新型コロナウイルスの影響による利用料金収入の減や、光熱水費の高騰による支出の増が見込まれるため、極力支出の抑制を図り収支バランスの確保に努めている。 公共料金（電気料金）の予期せぬ高騰への対応については、引き続き八王子市と協議を進めており、市の補正予算での対応を予定している。	B	新型コロナウイルスの影響があったものの、利用料金収入は目標収入を達成する月もあり回復傾向にある。 一方収入の見込みを踏まえ、光熱水費の高騰が続いていることから、極力支出の抑制を図り収支バランスの確保に努めている。 公共料金の予期せぬ高騰への対応については、現在も八王子市と協議を進め、市の補正予算での対応を予定している。	B	利用料金収入は目標を達成する月もあったが、新型コロナウイルスの影響もあり、今年度の予算額を達成するまでには至らなかった。 支出面では、抑制に努め収支バランスの確保に努めたものの、著しい物価高騰による電気料金等の値上げに直直し、予算を大きく超えることとなった。この電気料金の高騰分は、市と協議し、一部補填してもらうこととなった。		
	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）・事業報告書・研修報告書・実地調査】	8	B		人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。	B		人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。 7月5日に行った衛生委員会にて、職員の時外勤務の削減や休暇取得の促進等、職場環境について検討をした。	B		人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。 12月9日に行った衛生委員会にて、職員の健康管理のため時間外勤務の削減や休暇取得の促進等、職場環境について検討をしている。	B	人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。 3月10日に3回目の衛生委員会を開催、職員の健康管理のため時間外勤務の削減や休暇取得の促進等、職場環境について検討をした。 有給休暇の取得は、法に基づいた取得ができた。	
	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	9	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行なった。
	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	10	B		新型コロナウイルスの影響による利用料金収入の減や光熱水費の高騰など、財団の経営への影響が懸念されるが、健全な状態を維持している。	B		新型コロナウイルスの影響による利用料金収入の減や光熱水費の高騰など、財団の経営への影響が懸念されるが、健全な状態を維持している。	B		新型コロナウイルスの影響による利用料金収入は、第三四半期は目標を達成する月もあり良かったが、一方で新型コロナウイルスの影響により予算額には届かなかった。また、光熱水費の高騰が続いているため、財団経営への影響を踏まえ、支出を抑制することで収支の健全性を確保した。	B		利用料金収入は、第三四半期は目標を達成する月もあり良かったが、一方で新型コロナウイルスの影響により予算額には届かなかった。また、光熱水費の高騰が続いているため、財団経営への影響を踏まえ、支出を抑制することで収支の健全性を確保した。
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	11	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条の規定に沿って適切に対応している。	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条の規定に沿って適切に対応している。	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条の規定に沿って適切に対応している。	B	第三者委託した業務の経費についても確認できた。	「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定書」第16条の規定に沿って適切に対応した。

令和4年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）				
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	業務に関連する法令一覧の更新回数 【1回/年】	12	-		8月に実施予定。	B		8月10日に実施済	B		8月10日に実施済	B	ヒアリング後に法令一覧の現物を確認した。	8月10日に実施済	
	サービス介助士 取得率100%（対象者：貸館業務10名、舞台管理業務5名）臨時職員については、基礎講習受講者も含む	13	-	年度末の数値をもって評価する。		臨時職員を含む対象者15名中、15名取得済み。	-	年度末の数値をもって評価する。		臨時職員を含む対象者15名中、15名取得済み。	-	年度末の数値をもって評価する。		年間を通じて100%を維持した点を評価したい。	臨時職員を含む対象者15名中、15名取得済み。
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られているか【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	14	B		開館日数 78日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した。	B		開館日数 79日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した	B		会館日数 76日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した	B		会館日数 79日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した
		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか（※該当の場合）【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	15	B		減免団体取扱要領に基づき適正に処理している。第1四半期では該当する申請は4件だった。	B	減免の申請書類等を確認したが、適切に対応していた。	減免団体取扱要領に基づき適正に処理している。第2四半期では該当する申請は3件だった。	B		減免団体取扱要領に基づき適正に処理している。第3四半期では該当する申請は1件だった。	B	ヒアリング後に一年間の減免申請書等を確認した。	減免団体取扱要領に基づき適正に処理した。第4四半期で該当する申請は0件だった。 年度累計 8件
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例：ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	16	B		会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切に管理している。	B		会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切に管理している。	B		会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切に管理している。10月に改めてファイル内文書のチェックを実施した。	B	ヒアリング後にファイル基準表等を確認した。	会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切にファイル内文書を管理した。
		修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例：事業報告書・実地調査】	17	B		今後予定している施設の大規模改修を念頭に、市の所管課と連絡をとりながら適切な施設保全を行っている。	B		今後予定をしている施設大規模改修を踏まえ、市の所管課と連絡をとりながら適切且つ必要な修繕を行いながら施設の保全を行っている。	B		今後予定をしている施設大規模改修を踏まえ、市の所管課と連絡をとり適切且つ必要な修繕を行い施設の保全を行っている。	B		令和5年度から施設の大規模改修を行うこととなるが、そのことを踏まえ計画的に修繕を行ない施設の保全に努めた。次年度も市と連携を図り、大規模改修前の修繕を的確に実施する。
		備品の管理が適切に行われているか【確認資料例：備品台帳・実地調査】	18	B		備品の清掃や除菌、破損箇所の修繕など、日常的なメンテナンスとともに、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行っている。大規模改修に向けた連絡会議（3回）にすべて出席し、備品の要望や工事に伴う移転の際の備品の対応について確認した。	B	今のところ、市の備品として登録の必要な物品の購入はないとのこと。	備品の清掃や除菌、破損箇所の修繕など、日常的なメンテナンスとともに、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行っている。大規模改修に向けた連絡会議にすべて出席し、備品の要望や工事に伴う移転の際の備品の対応について確認した。	B		備品の清掃や除菌、破損箇所の修繕など、日常的なメンテナンス実施し、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行った。また、大規模改修に向けた連絡調整に対応し、備品の要望や工事に伴う移転の際の備品の対応について確認した。	B		備品の清掃や除菌、破損箇所の修繕など、日常的なメンテナンス実施し、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立ち定期的な管理を行った。大規模改修後に必要となる備品の要望や工事に伴う備品の移転先の現場立会いを行い、令和5年度に備えた。
	施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者満足度	19	-		8月からの実施に向け調整準備をしている。	-		8月16日よりアンケートを実施し、現在集計中である。第3四半期に結果を報告する。	A	目標を達成するとともに、総合的な満足度は前年度よりも高い水準をクリアしている。積極的に評価したい。	10月20日をもってアンケートの回収を完了し、サンプル数は179件であった。集計結果を12月13日に市に提出した。総合的な満足度は99.4%で前年と同レベルであったが、「大いに満足」は前年度より5.8%アップの45.2%の結果となった。	A	極めて高い水準で目標を達成したことを積極的に評価したい。窓口職員の対応だけでなく、舞台スタッフの対応がよいと利用者から評価されているとの報告があった。	利用者満足度調査の結果については、報告済である。「大いに満足」が向上したことは、日頃の職員の接遇によるものである。
ロビーコンサート実施回数 【30回/年】		20	-	年度末の数値をもって評価する。	4月 4回 82名 5月 3回 58名 6月 2回 52名 計9回 192名	-		7月 4回 65名 8月 3回 52名 9月 3回 85名 計10回 202名 累計19回 394名	-		10月 3回 85名 11月 2回 41名 12月 4回 117名 計9回 243名 累計28回 637名	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	1月 2回 44名 2月 1回 35名 3月 2回 34名 計5回 113名 累計33回 750名 目標回数を達成した。	
避難経路説明会の実施 【3件/年】 ステップアップコンサートの開催 【1件/年】		21	-	年度末の数値をもって評価する。	・避難経路説明会（大・小ホール） 5月8日開催 参加：13団体23名 アンケート結果 満足度100%（大いに満足41%、満足59%） ・ステップアップコンサート 6月11日実施 参加者124名	-		避難経路説明会（大・小ホール） 9月19日開催 参加：13団体25名 アンケート結果 満足度100%（大いに満足48%、満足52%）	-		次回の避難経路説明会は 1月22日小ホール利用者対象に開催 2月19日大ホール利用者対象に開催	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。避難訓練説明会は、本年度から本格的に実施したが、参加者の満足度は高く好評であった。アンケートで不満と回答した方は、説明が非常に良かったのに、資料として配付できなかったことで不満としたとのこと。貴重なご意見と捉え、今後の改善に期待したい。	避難経路説明会 1月22日開催（小ホール） 参加：4団体4名 2月19日開催（大ホール） 参加：4団体8名 アンケート結果 満足度91.7%（大いに満足83.4%、満足8.3%） 第4四半期の避難経路説明会は、利用者が本来利用する施設を理解してもらったため、大・小ホールに分けて実施し、余裕を持った対応が出来たことが、利用者からわかりやすかったと評価いただいた。今までの取組から改善した結果である。	
利用者の苦情処理の体制がとれていること		22	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	要望は、主に備品のちょっとした不具合に関するものであり、速やかに対応していることが確認できた。	B	「お客様の声対応システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。 苦情3件、要望1件、謝辞15件 ※苦情の内容は、女子トイレの数が少ないことであったが、現在は利用状態を鑑み会議棟の案内、男子トイレの一時女子トイレ可等で対応している。	B			「お客様の声対応システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。 苦情1件、要望2件、謝辞24件 ※苦情の内容は、お茶室の志野の茶碗の口が欠けていた、また、折り畳みイスの座面に釘の先が出ている箇所があり危険であるとのことであったが、直ちに茶碗は片付け折り畳みイスについてネジの先を切断し座面に出ないように調整をし対応をしている。	B		「お客様の声対応システム」により適切に対応してきた。実績を月次報告にて市に報告している。 ※苦情0件、要望1件、謝辞14件	年度累計 苦情4件、要望10件、謝辞67件
管理経費（人件費、修繕費を除く）の支出額 収支計画以下【91,584千円以下】		23	-	年度末の数値をもって評価する。		第1四半期管理経費支出額 42,529,305円	-		第2四半期管理経費支出額 18,929,647円	-		第3四半期管理経費支出額 13,793,087円	B	著しい物価高騰の影響により電気料金等が予算額を超えることとなった。	第4四半期管理経費支出 21,547,966円 年度累計額 96,800,005円
利用料金収入 収支計画以上【106,000千円（キャンセル料は除く）】	24	-	年度末の数値をもって評価する。		第1四半期利用料金収入額 17,985,110円	-		第2四半期利用料金収入額 26,189,350円 累計 44,174,460円	-		第3四半期利用料金収入額 27,253,940円 累計 71,428,400円	B		第4四半期利用料金収入額 22,415,160円 累計 93,843,560円	

令和4年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	施設の日数利用率	ホール 70%以上	25	-	年度末の数値をもって評価する。 71.2% (利用可能日数146日、利用日数104日)	-	-	93.9% (利用可能日数148日、利用日数139日) 累計 82.7%	-	-	94.6% (利用可能日数148日、利用日数140日) 累計 86.7%	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	87.7% (利用可能日数138日、利用日数121日) 累計 86.9%
		練習室、会議室、展示室 60%以上	26	-	年度末の数値をもって評価する。 67.4% (利用可能日数699日、利用日数471日)	-	-	69.8% (利用可能日数709日、利用日数495日) 累計 68.6%	-	-	76.3% (利用可能日数684日、利用日数522日) 累計 71.1%	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	68.9% (利用可能日数676日、利用日数466日) 累計 70.6%
		創作室、茶室 50%以上	27	-	年度末の数値をもって評価する。 59.4% (利用可能日数234日、利用日数139日)	-	-	57.4% (利用可能日数237日、利用日数136日) 累計 58.4%	-	-	62.4% (利用可能日数229日、利用日数143日) 累計 59.7%	A	目標を120%以上の数値で達成した。茶室や創作室を利用する団体がわずかながら増加したため、目標達成につながった。	61.2% (利用可能日数227日、利用日数139日) 累計 60.1%
		指定管理事業：鑑賞事業実施件数 【8件/年】	28	-	年度末の数値をもって評価する。 ・山口佳子 258人 ・映画われ弱ければ 597人 ・八王子deオペラ 134人 ・滞空時間 163人 ・来生たかお 517人 ・王子の授業① 30人 計6件	-	-	・杉山清貴 614人 ・八王子こどもミュージカル 1,460人 ・ライスパワージャム! 2022 66人 ・磯野正明チェロ歴40周年演奏会 76人 ・王子の授業② 30人 計5件 累計11件	-	-	・思いを言葉にのせて 300人 ・東儀秀樹 476人 ・ピアノトリオ 160人 ・王子の授業 27人 計4件 累計15件	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	・八人の王子たち第7楽笑!! 269人 ・辰巳ゆうと 688人 ・にぎわい寄席 262人 ・磯野正明チェロ歴40周年演奏会Vol. 2 78人 計4件 累計19件
		指定管理事業：市民参加型事業実施件数 【3件/年】	29	-	年度末の数値をもって評価する。 ステップアップコンサート 124人 初心者のためのいけばな教室 6回142人参加 ユースオケワークショップ 11回298人参加 ユースシアターワークショップ 4回7人参加	-	-	初心者のためのいけばな教室 6回160人参加 ユースオケワークショップ 17回374人参加 ユースシアターワークショップ 14回74人参加	-	-	初心者のためのいけばな教室 6回120人参加 ユースオケワークショップ 3回 90人参加 ユースシアターワークショップ 26回177人参加	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	初心者のためのいけばな教室 6回112人参加 ユースオケワークショップ (10月まで) ユースシアターワークショップ 3回18人参加 累計4件実施
が事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がなされていること	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、文化芸術の振興に向けた管理運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	30	B	コロナ禍において、感染拡大を防止しながら文化活動の施設利用を「ささえ」、ユースオーケストラの活動を通じて次世代の文化活動を「そだてる」管理運営を行った。本市の文化芸術の振興に向けた施設の管理運営を行っており、積極的に評価したい。	A	指定管理者のノウハウを活かして、市民や文化団体への活動支援を積極的に行った。本市の文化芸術の振興に向けた施設の管理運営を行っており、積極的に評価したい。	A	市民文化祭では、ワークショップの場所をよみ集客が見込める場所を提案したり、ロビーコンサートの来場者も同日開催イベントの周知を行うなど、文化団体への細やかな支援を積極的に行った。本市の文化芸術の振興に向けた施設の管理運営を行っており、積極的に評価したい。	A	文化芸術ビジョンの「とどける」につながる取組として、秋の市民文化祭には共催館として積極的に支援・協力をした。また、文化団体への施設利用サポート(合唱、舞踊、吹奏楽練習など)や広報の面での支援など「ささえる」取組や、初心者のための茶道教室・いけばな教室、ユースシアターワークショップなど、若者やアマチュアへの表現活動の場の提供を通じて「そだてる」取組を行った。	A	ユースシアターワークショップなどの演劇事業では、芸術文化会館が学生や若者のタマリバとして活動しやすくなるよう、学生マネージャーを公募し、互いに意見を出しやすいう雰囲気づくりを心がけた。指定管理者のノウハウを活かした支援により、文化芸術ビジョンの「そだてる」につながる取り組みがなされている。	文化芸術ビジョンの「とどける」に繋がる取組みとして、文化団体への施設利用サポート(合唱、舞踊、吹奏楽練習など)や広報の面での支援など「ささえる」取組や、初心者のための茶道教室・いけばな教室、ユースシアターワークショップなど、若者やアマチュアへの表現活動の場の提供を通じて「そだてる」取組を行った。
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がなされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	31	A	施設の特性を踏まえ、試験的に遮熱シートを設置した結果、ガラス面付近では約10度もの差があったとのこと。工夫しながら環境に配慮した取組を行っており、評価できる。	A	市環境マネジメントシステムの取組に沿って、空調や照明の調整、節水に向けた取組を行っている。また、利用状況に応じて空調管理を柔軟に行い、電力使用量の削減に努めていた。環境に配慮した施設管理に努めており、評価できる。	B	試験的に遮熱シートや隙間テープを設置するなど、工夫しながら環境に配慮した取組を行っている。	B	市環境マネジメントシステムの取組に沿って、空調や照明の調整、節水に向けた取組を行っている。1階事務室、防災センター、休憩室の窓に遮熱シート及び隙間テープを設置するなど電気料金の高騰の中、少しでも節電が図れるよう対応した。	B	市環境マネジメントシステムの取組に沿って、空調や照明の調整、節水について取り組んだ。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	利用者を対象とした「避難経路説明会」を実施【3回/年】	説明会参加者から、危機管理意識が高まったとの感想が聞かれたとのこと。有事に備えた取組として、より効果的なものとなるよう、今後に期待したい。	32	B	第1回目を5月8日に実施した。参加：13団体23名 施設利用を申し込んでいる団体に案内を送付して、参加を呼びかけている。次回は9月19日に実施予定。	B	第2回目を9月19日に実施した。参加：13団体25名 施設利用を申し込んでいる団体に案内を送付して、参加を呼びかけている。次回は12月22日に実施予定。	B	第3回目を12月22日に実施した。参加：4団体4名 大ホール対象の説明会は2月19日に実施。参加：4団体8名 施設利用を申し込んでいる団体に案内を送付し、参加を呼びかけた。令和5年度避難経路説明会については5月12日に実施することで準備を進めている。	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	第3回目は小ホール対象の説明会を1月22日に実施。参加：4団体4名 大ホール対象の説明会は2月19日に実施。参加：4団体8名 施設利用を申し込んでいる団体に案内を送付し、参加を呼びかけた。令和5年度避難経路説明会については5月12日に実施することで準備を進めている。		
		個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等)への参加回数 【1回/年】	33	-	秋に実施予定。	-	年度内に実施する。(12月予定)	B	12月6・13日に実施した。出席者15名	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	12月6・13日に実施した。		
		防災・消防訓練の実施または参加回数 【2回/年】	34	-	年度末の数値をもって評価する。 訓練は実効性を伴う内容とすべく、計画している。特に新たにホールを利用する方に対し、災害時安全かつ速やかに対応出来るよう、職員の意識向上を目指した内容を予定している。第1四半期での実施はなし。	-	訓練は12月以降に実施する予定とのこと。 訓練は実効性を伴う内容が望ましい。特に新たにホールを利用する方に対し、災害時安全かつ速やかに対応出来るよう、職員の意識向上を目指した内容を予定している。第2四半期での実施はなし。	-	他のホールでスプリンクラー誤作動等による損害賠償事故が発生していることから、市の指示に即応し、事故原因究明対策として作動機の蓋を紙テープで封印した。また舞台職員のみならず事務及び窓口職員も含めスプリンクラーの開閉バルブの位置及び動作の確認を改めて行い、万が一の不測の事態に対応出来るよう訓練を実施した。参加者 15名	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。他のホールでの事例を参考に、有事に備えるなど、危機管理意識を高めている。	年間3回、防災、消防訓練を実施または参加した。 3/1 机上訓練を実施し10名が参加した。また、朝礼で防災対応者を決め日頃から安全防護に努めている。日常での情報共有を図り、防災意識の向上に努めている。		
AED資格取得率 100% ただし、期中の新規採用者・休職中の職員等は除く	35	-	年度末の数値をもって評価する。 職員29名中、対象となるのは24名。6月30日現在AED資格取得率は100%。	-	職員29名中、対象となるのは24名。9月末日現在AED資格取得率は100%。現在継続が必要な職員の研修日程を調整中。11月から実施予定	-	職員29名中、対象となるのは24名。9月末日現在AED資格取得率は100%。継続が必要な職員の研修を11月2・9・22・29日に実施し10名が参加した。	A	年間を通じてAED資格取得率100%を維持し、緊急時に備えた。積極的な取り組みを評価したい。	職員29名中、対象となるのは24名。3月末日現在AED資格取得率は100%				

令和4年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）			
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報の取り扱いが適切であること	36	B		個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行っている。	B		個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行っている。	B		個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行っている。利用者の情報は鍵のかかる書架にて保管をしている。	B	ヒアリング後に個人情報の管理状況を確認した。	個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行った。利用者の情報管理は鍵のかかる書架にて保管した。
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	37	B		公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。	B		公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。	B		公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。	B	ヒアリング後に保険証券を確認した。	公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。
	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	38	B	施設利用者が行方不明となる事案が発生したが、警察と連携し適切に対応していた。	「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。	B	電子レンジの故障により過熱しすぎた食材から煙が出て、火災報知器が発報する事案が生じた。故障したレンジは廃棄し、また他の電気機器類も全て点検したとのことだが、十分に気をつけてもらいたい。	「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。	B		「事故報告システム」により適切に対応している。報告案件はなかった。	B	第四四半期では、利用者が体調不良で救急搬送される事案が3件発生したが、いずれも適切に対応していた。	「事故報告システム」により適切に対応した。実績は月次報告のなかで市に報告している。

期末総合評価	B
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 施設の安定的な運営のための人員、有資格者の配置は、適切に行われており、利用料金の収受等も適正に行われていた。また、施設の大規模改修が控えている中、設備の修繕は優先順位を考慮して適切に行われていた。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日、開館時間は適正であり、管理運営に関する文書も適切に管理されていた。年間を通して職員全員がサービス介助士の資格を保有し、様々な利用者に対応できるよう配慮していた。備品に関して、日常的な管理はもとより、令和5年度からの大規模改修に備えて、移設に向けて準備に着手していた。</p> <p>【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者満足度は高い水準を維持している。本年度から、避難訓練説明会を本格的に開始し、緊急時の利用者への対応について、動線や避難誘導の方法など、理解しやすいよう工夫しながら説明し、好評を得ていた。</p> <p>【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 利用率は概ね高い水準にあり目標を達成した。また、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じたうえで、多くの指定管理事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報は適切に管理されていた。新たな取組である避難訓練説明会により、利用者の危機管理意識を高めるとともに、職員の意識も高め、緊急時に対応できる体制を整えていた。</p> <p>【総括】 開館から28年が経過し、設備などの一部に経年劣化が見られるなか、適切な管理に努めていた。ロビーコンサートをはじめとした市民が文化芸術に触れる機会の提供や、初心者のためのいけ花教室など新たに文化芸術活動を始める機会の提供を通じて、市民文化の振興拠点としての役割を果たしている。引き続き、指定管理者の特性を活かした管理運営に期待するとともに、広く市民に親しまれる文化施設となるよう努めてもらいたい。また、令和5年度からの大規模改修工事では、利用者への事前周知や、備品、事務所の移転準備など、協力をお願いしたい。</p>